

都市再生整備計画 事後評価シート

美濃加茂市中蜂屋地区

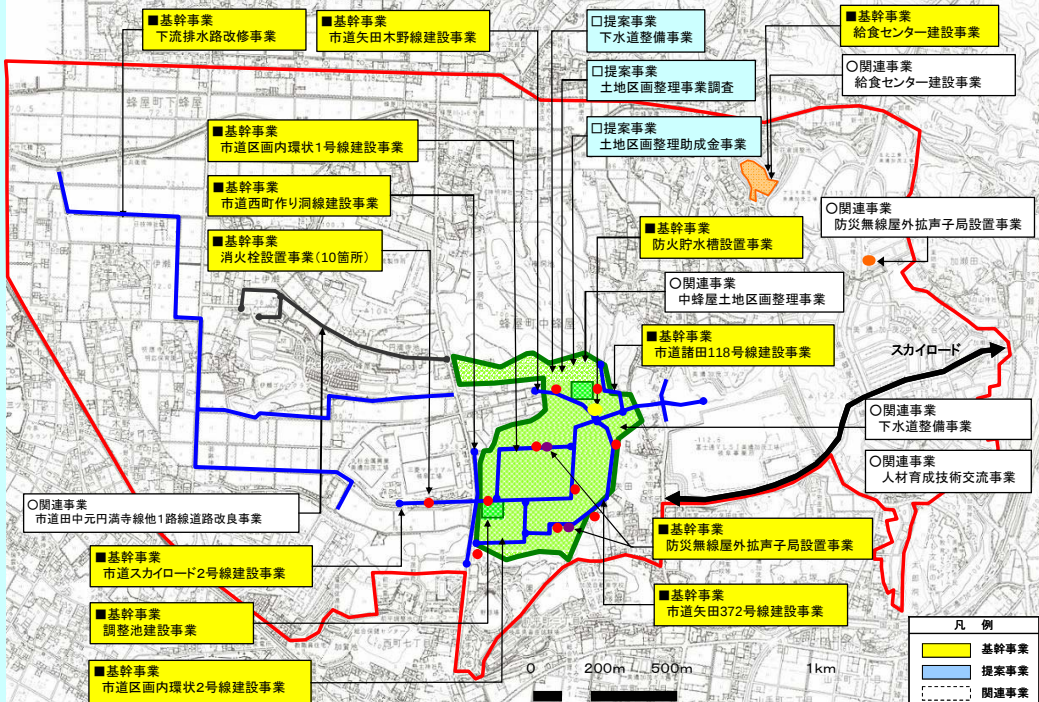
平成24年3月

岐阜県美濃加茂市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	美濃加茂市	地区名	美濃加茂市中蜂屋地区	面積	600ha						
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	2,059 国費率 0.417								
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名 道路新設改良事業(市道スカイロード2号線、市道区画内環状1号線、市道区画内環状2号線)、道路改良事業(市道西町作り洞線)、地域生活基盤施設事業(防火貯水槽設置事業：6基、防災放送マスト設置事業：1基、給食センター建設費：A=1,932㎡、消火栓設置事業：10基、下流排水路改修：L=3,350㎡、)										
		提案事業	事業活用調査(土地区画整理事業調査：A=31ha)										
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	道路改良事業(市道田中元円満寺線、市道伊瀬81号線)		地元調整の進捗、市財政状況等を勘案し関連事業に移行。		影響なし						
		提案事業	人材育成技術交流事業		美濃加茂市商工会議所による類似した事業が実施されているため、関連事業で位置づけし補助事業としては取りやめる。		指標3に関連するが、数値目標は据え置く。						
	新たに追加した 事業	基幹事業	道路改良事業(市道矢田木野、市道諸田118号線、市道矢田372号線)調整池建設事業		スカイロード2号線のルート変更による付替え整備。 大規模開発に伴う雨水排水量の増加による下流域の浸水災害防除。		指標2に関連するが、数値目標は据え置く。						
		提案事業	地域創造支援事業(土地区画整理助成金事業：A=31ha、下水道整備事業：L=2,000m)		市助成要綱に基づく中蜂屋土地区画整理組合への補助金交付。 市単独分を都市再生整備計画の対象事業とすることとなったため。		指標2に関連するが、数値目標は据え置く。						
	交付期間 の変更	当 初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響			-					
		変 更	-										
	2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単 位	従前値		目 標 値		数 値		目 標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
指標1		地区内企業雇用人数	人	2,300	H18	2,800	H23		2,888	○	あり なし	良好な企業誘致環境は多様な規模の企業立地を可能としたことにより、雇用人数の増加につながった。	平成24年4月
指標2		地区内企業進出数	社	11	H18	14	H23		14	○	あり なし	各種事業が実施されたことにより地域に良好な企業誘致環境が創生され、進出企業増につながった。	平成24年4月
指標3		人材育成事業実施企業数	社	0	H18	3	H23		7	○	あり なし	人材育成技術交流事業の実施により企業の認知度が高揚され、人材育成事業の実施企業増につながった。	平成24年4月
指標4											あり なし		
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単 位	従前値		目 標 値		数 値		目 標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の 数値指標1	防災無線子局設置による 非音達区域	ha	44.6	H20				7.2			非音達区域の大幅改善により、防災情報の取得に係る安心度が向上した。	-
	その他の 数値指標2	工場見学団体数	団体	12	H19				33			人材育成技術交流事業への賛同企業による工場見学の積極的な受入れは、企業と住民との連携・交流意識の高揚につながった。	平成24年4月
その他の 数値指標3													
4)定性的な効果 発現状況	・直ぐには建築物が埋まりませんが、土地区画整理区域内に新たな建築物が立つことにより個人投資がなされ、経済・地元産業が活性化する。 ・長期的に見れば、多くの個人投資を引き出すことによる経済効果が大きい事業であった。 ・企業誘致に伴う雇用活動の広がりと相俟って、当該地区の人口が大幅に増加した。 ・給食センターの運営を民間企業に委託したことにより、災害時においても全国レベルでの人的支援が可能となったことから、災害拠点としてより機能性が増した。 ・企業の誘致は、製造業、不動産業の伸びとして統計上からも確認できる。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加 プロセス	住民主体のまちづくりによる未利用地の基盤整備事業の推進	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●中蜂屋土地区画整理組合による基盤整備が進んでおり、今後は企業誘致等において積極的に支援していく。 住民主体でまちづくりへの取組みを今後展開していこうとする地区に対し、支援方策の検討を図る。						
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

美濃加茂市中蜂屋地区(岐阜県美濃加茂市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「産業と住民の連携・交流・人材を育む、安全で元氣な賑わいのある産業都市のまちづくり」 ○住民主体のまちづくりによる未利用地の基盤整備事業を中心として被災時の食糧供給施設を兼ねた給食センター等の防災施設整備を含めた一體的利用計画を推進する事により、防災に強い安全な産業集積地を創出する。 ○幹線道路と生活道路の整備を行い、東海環状自動車道を中心とした道路網による各種企業間と住民相互の連携・交流を促進し、元氣で賑わいのある街を創出する。 ○集中立地した企業及び給食センターと住民との連携・交流による人材育成を図り、地元雇用及び産業の発展を促進し、美濃加茂市の産業経済を活性化する。		地区内企業雇用人数	単位: 人	2,300	H18	2,800	H23	2,888	H23
		地区内企業進出数	単位: 社	11	H18	14	H23	14	H23
		人材育成事業実施企業数	単位: 社	0	H18	3	H23	7	H23
			単位:						
			単位						
 				 					
まちの課題の変化		・中蜂屋土地区画整理事業等の実施により都市・防災機能が強化され、良好な企業誘致環境が創出され、中部台地住宅団地近隣に良好な企業誘致環境が確保された。 ・中蜂屋土地区画整理事業地内とその周辺地区において土地利用・基盤整備の方向性が明確に示された。 ・商工会議所を中心とした人材育成、交流・連携に係る活動が定着した。 ・給食センターの新設、移転により安全かつ安定した給食供給が可能となり、災害時の食料供給に係る拠点施設が確保された。							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		・主たる都市基盤・防災施設等はほぼ整備されたことから、今後は立地企業に対する奨励金制度等、企業誘致に向けたソフト面における施策についての検討を行う。 ・安全・快適な居住環境や立地企業環境の維持・継続に向けた規制・誘導等に関する施策についての検討を行う。 ・企業間及び住民との連携・交流と人材育成に係る活動に対し、引き続き様々な支援を行う。 ・良好な企業誘致環境が確保され、企業誘致に加え団地内居住の促進に係るソフト面における施策についての検討を行う。 ・施設整備により主要機能が確保され、今後は機能の維持管理に加え“食育”推進の拠点、被災時の食糧供給等の機能発揮に向けたソフト面における施策についての検討を行う。 ・新たに土地利用計画を策定する地区においては、事前に地区住民のまちづくり意識の醸成、まちづくり活動の推進・組織化方策についての検討を進める。							